



さくらじま便り

「桜島のみんなとつながる」を目指して

SAKURA
JIMA
DAYORI
第2号
2020年3月発行

桜島大根コンテストで総合・重量部門共に優勝した大野学さん

発行・編集 / 桜島地域おこし協力隊
Photo・Editor / Akane Masudome
Design / Yurina Yamashita

協力隊員は、冊子をおいて頂ける場所、応援していただける方を募集しております。
| お問い合わせ先 |
TEL 099-245-2550(増留)
MAIL a.masudome@sakurajima.gr.jp

CONTENTS

「特集」

桜島大根

コンテスト 関連

環境子ども

フォーラム

東桜島校区

コミュニティ協議会

正月三社参り

改新地域

コミュニティ協議会

初日の出を拝む会

今月の桜島人

お知らせ

部門	順位	氏名	重量(kg)	胴回り(cm)
一般(総合)	優勝	大野 学	24.00	125
	準優勝	大野 勤	20.75	104
	第三位	宮元 春清	19.40	116
一般(重量)	優勝	大野 学	28.50	126
	準優勝	杵元 俊一	26.60	118
	第三位	重久 清隆	23.10	119
学校	優勝	東桜島小学校	23.55	113
	準優勝	小倉南中学校	17.20	102.5
	第三位	桜峰小学校	16.30	111
幼稚園・保育園	優勝	桜島保育園	21.75	111
	準優勝			
	第三位			
胴回り賞		馬込 保	22.25	127
かごしま 親善大使賞		吉田 茉莉子	9.85	91
地域おこし 協力隊賞		竹下 忠志	13.35	114.5

桜島勢が入賞作品を 独占したのは、14年ぶり!



↑数年ぶりに桜島農家勢で総合部門に上位3位に入賞!!
←受賞者一覧には、大根名人から初心者の名前が並びます
→保育園の部で優勝した桜島保育園の代表の園児のみなさん

の、季節になりました
試行錯誤の中での
新たな一歩

★桜島 大根



例年であれば、大きな大根をそのまま出荷するだけでなく、漬物などの加工用になるはずだった桜島大根。今回ばかりはそうもいかず：そう、主にお土産などの加工商品に使用されている大根もあり、新型コロナウイルスによる昨今の観光業界への打撃とともに、農家さんへの影響も否めませんでした。

大規模な収穫体験イベントをしようにも、制限ある中での実施規模も限られている：そんな中で、鹿児島県内の各関係機関が力を集結し、今回初の開催に至った



今回の種まきは、昨年八月下旬から九月上旬、そこから一月の収穫まで、約四月。一般的な青首大根が種まきから収穫まで約二か月ほどですが、それに比べても桜島が誇る世界一の大根がこんな短期間で市場に出回るようになるなんて、皆さんで存知でしたか?

学校部門で優勝した東桜島小学校教師の方々
パルク広場には桜島大根コンテスト楽しみにする人々が集まりました

桜島だいこんフェアとは?

- 桜島大根の最盛期である1月~2月にかけて、特産品であり、伝統野菜でもある大根を地元鹿児島県の飲食店、ホテルなどが一体となって独自の大根メニューを通して、大根のPRを目的としたものです。
- 体に良いと言われる桜島大根を、県内での特産品としての認知度をあげ、各所での新メニューの開発で地産地消の拡大を目指して実施されるイベントです。



のが「桜島だいこんフェア」!
この期間中に、オープンングイベントの一つとして、例年は桜島内で行われている桜島大根コンテストが天文館パルク広場にて開催されました。応募は、県内から四八件、県外から二件、計五〇件、つまり五〇点の大根たちが会場には大集結!(うち一般四十一件、学校八件、幼稚園一件)どっしり大きいものから、美しく小ぶりのものまで、会場をぐるぐると埋め尽くし、来場者を圧巻していました!

そして今回栄光に輝いたのは、「総合(形状・光沢・重量による)・「重量」部門共に、白浜町の「大野学さん!」すでに島内では、知る人ぞ知る大根農家「大野三兄弟」のご長男で、桜島大根の重量による現ギネス記録(三十一・一キログラム、胴回り一一九センチメートル)保持者です。桜島大根に関わり初めて四十数年、「肥料を」食べさせるタイミングが大事。葉を見たら追肥の量も分かる。これからも自分のギネス記録を超えるよう挑戦し続けたい」とこれまでの道のりから得てきた着実な経験と抱負を教えてくださいました。

初めて大根の最盛期を体験し、島中でゴロゴロ口、そして至る所でサラサラと天日干しされている様子に驚きと同時に、島の豊かな恵みをあらためて目の当たりしたこの季節。昨年からの長期に渡り、桜島は特に観光面において厳しい状況に直面していますが、そんな中で関係各所の協力で生まれた「だいこんフェア」という新たなイベント。今後も桜島大根が鹿児島県の文化の一つとして、地域に根差していくための更なる一歩としての大事な機会だったのかもしれない。



環境子どもフォーラムで地域環境を活かした取り組みを発表

東桜島小学校



環境活動発表を行ったのは、市内の小学校やエコクラブなどの計五つの団体。地元にある川の生態や水質調査、またこれから環境を守っていくために生活の中でできること、といったテーマを他団体が発表する中、我々が東桜島小学校は「火の島・桜島の火山活動と、桜島の環境に合わせた農業」について発表しました。なかなか桜島の生活や歴史を知ることが少ない地域の特に子ども達にとっては、全く違った環境で生活していることに驚きや興味津々の様

がどのよう市場に出回るとかという勉強のため、青果市場に行った。さらに、収穫した大根がどのように市場に出回るとかという勉強のため、青果市場に行った。



生徒からは、「もっと高く、もっと高く」と競(せ)りでの気持ちが行う人々の気持ちも少し体験できた様子も伺えました。桜島の子も達、そしてそれ以外の地域の子も達、市内でも住んでいる環境は全く違っている、そこで起こっていることや取り組んでいることを学び、よい刺激を学ぶ大変貴重な機会。発表を終えた子ども達からは、「緊張した」という声が上がっていました。が、今後もさくらじまっ子達、すてきな桜島の当たり前を発信していつてくれることが楽しみとなる機会でした。

クイズで会場は一気に盛り上がりました!



1月30日、鹿児島市城西のかごしま環境未来館で開かれた、令和2年度環境子どもフォーラムに東桜島小学校の3～6年生の計8名が参加し、環境に関する発表を行いました。同フォーラムは、次世代を担う子ども達が環境問題に関心を持ち、その具体的な取り組みや成果を市民に発信する、という目的で実施されたもので、同世代の子ども達から大人まで、あらゆる世代に発信できる貴重な機会と言えます。

ほかの地域では何してるの?

初日の出を拝む集い

改新地域
コミュニティ協議会

二〇二一年元日、改新(せ)ざい。やさしい甘さと温かい地域コミュニティ協議会が毎年恒例となつて、初日の出を拝む集い。初日の出を拝む集い。初となる、美しい日の出が姿を現しました。



改新の初日の出

七時頃から地域内の桜ヶ丘公園に集合。天気が予報では雪になるかも?とそんな心配をよそに、いつもより暖かい天候に恵まれた日でした。また、この時の楽しみの一つが、お餅をその場で焼いて作ったぜん

正月三社参り

東桜島校区
コミュニティ協議会

各地区内の三つの神社を回り、新年の家の安全・健康を願う正月三社参りが、東桜島校区で一月一日に行われました。小中学生八名、その保護者や地域の方々など十九名の計二十七名が砂防センター(野尻町)から、野尻の姫宮神社、持木の山宮神社そして湯之の若宮神社を約一時間かけて参拝し、この一年の願い事

を書いてそれぞれの短冊を、準備した竹に掛けて、各神社に奉納しました。参拝後は、集会所で茶話会が行われ、お茶やお菓子をいただきながら、普段あまり関わることのない世代との交流で楽しく時間を過ごすことができました。今後ともこういった地域行事を大切に継続していきたいと思



三社参り



お知らせ

「改新交流センター(市の施設)」を、是非ご活用ください! 和室やちょっとした地域イベントの実施が可能なお部屋もあります。

協議会事務局職員とお茶を飲み、お散歩の休憩に、おしゃべりに♪ぜひお越しください!温かいお茶やコーヒーで一息入れましょう(^^)

滞在時間 毎週月・水・金・土曜日の午前9時~12時

桜島生まれ・育ちで特別な想いは?

「桜島」で育つことに特別感はありませんでした。街や最寄りのコンビニへ行くには何かと不便で「嫌だ」と思いつつも育つてきました。ただ、今となっては本当に豊かな場所で生きてきたと思います。

もやもやすることがあっても、生活のいろいろな場面で、自然に癒されていたのでしょうか。次の日には気持ちはずれず、山にも囲まれ、地域の人のコミュニケーションも取りやすい、体にも心にも優しい環境です。

今の私があるのは、桜島の環境が良かったからだ、とここ二三年で気づきました。

第一回 今月の桜島人

MINATOCAFEで働く
園田もえさん

桜島に住んでいる人や関わっている人、人から人へ紹介し繋いでいくコーナー



©たなかカメラ



©たなかカメラ

→カフェの看板娘はしてもらえただけで、みんな気持ちがあつてくれます。
↑観光客だけでなく、地域の方々がいつも立ち寄り、園田さんやカフェスタッフから元気をもらえる場所です。

編集部からのコメント/笑顔がたまらず、温かみのある生粋のかごま弁からは、県外の人々も、あつという間に親しみを覚えています。そんな魅力を持つ園田さんかいるMINATOCAFEは、彼女と同じく、心地よさに包まれている空間。度々、あらうつろいでみてくださいます。素敵なスタッフさんをお待ちです。

営業時間 十一時~十五時(第三水曜日を除く)
所在地 桜島横山町六十一(四)桜島港フリーターミナル二階
問い合わせ MINATOCAFE ☎・Fax 293312550

勤務先のカフェで忘れられないエピソードは?

二年前からカフェに通って、桜島に住むとあるおばちゃんのお話です。いつもお話をしにカフェに立ち寄ってくださいます。それもほぼ皆勤賞!

数年前、県外でのお仕事を終え、桜島に帰ってきたばかりの頃、「バス停も家の近くにない、買い物も船でやっ。地元の人達からは、どこの人やるかい、と気にされる。ここは住むとこじゃないよ」と慣れない環境に色々な思いを抱えていました。

しかし、カフェに通ってくださるうちに、そこに来る方々やカフェスタッフとの出逢いから体験ツアーや防災訓練などに参加されるようになり、「自分の住むところへの興味がわいてきた!桜島がいいよね」と最近はおつしやいます。カフェでの会話や出会いが桜島での生活を好きになるきっかけになったのかなあ、ととても嬉しくなりました。

今後、こんなカフェにしていきたい!

カフェとしては、地元の人立ち寄りやすいスペースとなつてほしいなと思います。

ここには美味しい料理を作れ、政治も語れる面白いスーパーシエフ、火山灰でアクセサリーを作る素敵大人女子、マスクも洋服もお菓子作りもなんでもできるスーパーお母さん、「日常をきりとる」ほっこり塩顔カメラマン(料理と筆文字アートと多才です)、桜島のスーパーガイドさん、他にも多才でおもしろいスタッフが集まります。

このMINATOCAFEを「美味しい手作りご飯が食べられる」以外にも、「ここに来たらおもしろい人に会える」、「船の待ち時間にコーヒーを飲もうかね」、「携帯の調子が悪いから若い人に聞いてみようかね。」など、人に会える、ちよつとしたもやもやが吹き飛んでいく、自然と癒される、など、いろんな方に様々なかたちで利用してもらえればと思います。

さくらじま便りについて

本誌は、桜島に住みながら、そこで見つける日常の素晴らしさや面白さを移住者視点で発見・発信することで島内外の皆さんと繋がりたいという想いから始まったものです。今後も地域の皆さんと繋がらせていただきながら、一緒に本誌を作成し、桜島の良さを多くの方に伝えしていきます!!

編集後記

まずだめ/あつという間に2号目の発行となりました!まだまだ迷いながら、探りながらの作成ですが、地域の皆さんのご協力で少しずつですが形になってきています!まずは今年1年毎月発行を目指して頑張ります!

やました/より見やすくデザインできるように精進します。桜島の皆さんの活躍を沢山の人の人知ってほしいです!

「けはい展」桜島を愛してやまないアーティスト二人による展覧会

厄介者に扱われがちな火山灰に、再び息を吹き込む火山灰アーティスト「KYOCO」桜島に住みながら暮らしの瞬間を温かに切り取るフォトグラファー「たなかだいき」そんな二人がついに展覧会を開催!

「桜島に暮らす人々の顔やその生活の息吹、気配を思い浮かべたら、火山の見え方が変わるかもしれない」二人のそんな思い溢れる空間、桜島にお住いの方も、そうでない方もぜひ体感してみてください。

「けはい展」
2021年3/8(月)~3/18(木) 10時~19時
三街区ギャラリー (鹿児島市名山町3-9)
※国旗が目印のスペイン料理「エルマリノ」さん隣

